

キャンプにGO! CAMP

ドキドキの初キャンプ
事前の準備で安心できて
しっかり楽しめる。
キャンプ・デビューの
コツについて聞きました。



数多くのキャンパーを見てきた堀之内さんに聞く

楽しむ！ キャンプ・デビュー7つのヒント

1 道具を大量購入しなくても大丈夫。

キャンプ場やバンガローには調理器具や道具が揃っていたり、レンタル可能な所も。

- キャンプはテントだけじゃない！
最初はコテージ・バンガローからでも。
- 家庭にある道具も使えます。
鍋・食器、カセットコンロ、寝具類、ホットカーペット…
- 出発前に使い方を練習しておくで安心。
- おすすめは明かり。雰囲気が出ます。
キャンドルとスタンド、ランタンなど。
- 災害時に使うような懐中電灯は必須。
夜は真っ暗、バンガロー泊でも必要です。

2 自分で調べて計画しておこう。

自分たちで計画を立てて行動するからこそ面白い！

- 「何をしたいか」を家族で会議しよう。
キャンプ場の立地は山か海か川か。
キャンプ場で何する？何食べる？
- 何を持っていく？何借りる？
貸し出しグッズは各キャンプ場のホームページで確認。
食材は出発前に下準備して密閉式保存袋で持参すると調理はスムーズ、ゴミも減る。
- 地図を見ながら計画をまとめよう。
近くに何がある？発見があるかも。
- ネットで検索して調べてみよう。
スーパー・コンビニ・道の駅・物産館
お風呂や温泉
病院（お子さんは熱が出ることも）
- 道中の立寄り場所は？
休憩やトイレ、景色のいい場所。
お団子やドリンクなどお楽しみも。

3 キャンプ場は早めに予約を。

大前提としてキャンプ人口に比べてキャンプ場は少なく、一般的に予約は取りづらくなっています。計画はお早めに。

- 移動は車で1~2時間程度をおすすめ。
到着後のテントの組み立て、調理を考えると移動で疲れる遠方よりまずは近場を。
- アウトドア体験はアイデア次第で多彩。
鹿児島県内で年中利用可のキャンプ場は10ヶ所程度。
ハイシーズンは混み合います。日帰りキャンプ、自宅でテントを張って寝るのもアウトドア体験ですよ。



4 スケジュールを立ててみよう。

移動時間に加えて到着してからの手順を組み立てておくで慌てずに済みます。時間配分はゆっくり目です。

- キャンプ地到着は明るいうちに。
日没時間は季節で異なるのでネットでチェック。暗闇でテントを組み立てるのは難しいものです。
- 食材の買い出しは？
事前の買い物に加え現地で購入できる特産品も◎。
- 調理、特に炭を起こす時間は要計画。
- 家族で段取りと役割を確認しておこう。

5 気持ち良い時間を過ごすために。

静けさもキャンプの醍醐味、お互いに気持ち良い利用を。

- 大きな音は出さないように。
大音量の音楽、大きな笑い声や嬌声はひかえよう。
- 風の音や星空を楽しんで。
スマホのアプリで星座も発見できる。
- 消灯時間以降は小さな声で。
消灯は夜9~10時が多い。寝始める人もいるのでお話しも小声で。じっくり話をする良いチャンス。

6 季節で楽しみ方を考えよう。

季節感を大切にすると楽しく快適になりますよ。

- 夏の遊びは海や川やプール。
素麺など冷たいもの、火を短時間しか使わないものが◎。
- 冬は焚き火や温泉。
食事は鍋など身体が温まるもの。
- 秋・冬・春は焚き火に最適。
焚き火不可のキャンプ場もあるので事前に調べておこう。
- テントで読書、映画鑑賞も◎。
日常とは異なる時間の流れを楽しむのもキャンプの楽しみ。

7 使った場所は元通りに。

キャンプ場はほかの利用者と空間を共有する場。到着した時と同じ状態に戻しておくのがキャンパーのオキテです。

- 共同利用のトイレ・水回りはきれいに。
家庭のトイレが全自動だと流し忘れるお子さんは案外多い。共同炊事場やバンガローの流し台の残飯もゴミ捨て場へ。
- 焚き火のあとの炭はどうする？
炭は埋めても土に還らないため分類はゴミ。

キャンプでおすすめ



●お手伝い
キャンプがきっかけで「子どもが自分からお手伝いをするようになった」声多数。お子さんにも役割分担を。



●空を見上げて
キャンプだと料理をしたり焚き火をしたりと地面ばかりに目が向きがち。日中は青空と雲を、夜は星空を見上げてみて。

教えてくれた人



くへの松原キャンプ場 管理人
アウトドアネットワーク(株)
代表取締役 堀之内 裕行さん
高校で登山部入部以降、キャンプなどのアウトドア活動の傍ら、林間学校での野外活動指導・アウトドアショップ店長など、アウトドアを基軸に多彩な活動を行う。鹿児島のアウトドア界を代表する一人。

くへの松原キャンプ場

幹線道路の近くながら、広大な松林に立地し非日常感あふれるキャンプ場。オートキャンプサイト・フリーキャンプサイト・バンガローを擁する。車はもちろんバイク・自転車での来訪も多い。近くのあすばる大崎の温泉、隣接する益丸プールとロケーション◎。

📍 大崎町益丸226-1
☎ 099-476-3611
🌐 website



Watch!

家族の遊びとキャンプの動画はこちら

